

## IV部 気象および発生源

IV部では、大気汚染濃度に影響を与えると考えられる気象要素及び発生源について報告する。

	項目名	記載概要
1	気象項目の状況	
1-1	風向風速	季節別及び年間最多風向・最多風向時平均風速分布図
1-2	日射量	月平均、月最高値
1-3	気温	年平均気温分布、年最高気温分布、月平均気温、年平均気温推移
1-4	降水量	年降水量分布、月平均降水量推移
1-5	大気安定度	月別出現時間数等
2	発生源の状況	
2-1	固定発生源	ばい煙発生施設、揮発性有機化合物(VOC)排出施設、一般粉じん発生施設、発生源監視体制の整備、硫黄酸化物・窒素酸化物排出量の推移、環境保全協定等に係る年間計画値の監視結果
2-2	移動発生源	車両保有台数、自動車排出ガス対策の推進

# 1 気象項目の状況

大気汚染物質の濃度に影響を与える気象項目として、風向風速、日射量、気温、降水量、大気安定度を選び、平成28年度の概要を示した。

## 1-1 季節別の最多風向と最多風向時平均風速

千葉県内で風向風速を測定している97局(一般局)の測定結果に基づき、季節別及び年間の最多風向と最多風向時平均風速を図1-1-1～図1-1-5に示した。

なお、カームについては、0.2m/s以下としている市と0.4m/s以下としている市が混在しているため、0.4m/sに統一し最多風向及び最多風向時平均風速を算出した。

4～6月：東葛、葛南、千葉地域(北西部)はSSW～S系の風が卓越した地点が多く、最多風向時平均風速は3～4m/s、4m/s以上の地点が多かった。木更津市、君津市の湾岸地域はSW系の2～4m/sの風が卓越する地点が多く、市原地域の内陸部はSE系～E系の2～3m/sの風が卓越した地点が多かった。北総、成田地域はNE系の地点が多く、九十九里地域はS系、南房総はE系の風が卓越した。

7～9月：北総、成田、印西、葛南、千葉、九十九里地域ではNE系の風が卓越した地点が多かった。君津地域はSW系の風が、市原地域内陸部はSE系の風が卓越した地点が多かった。最多風向時平均風速は4m/s未満の地点が多く、4m/s以上の地点は4地点のみであった。

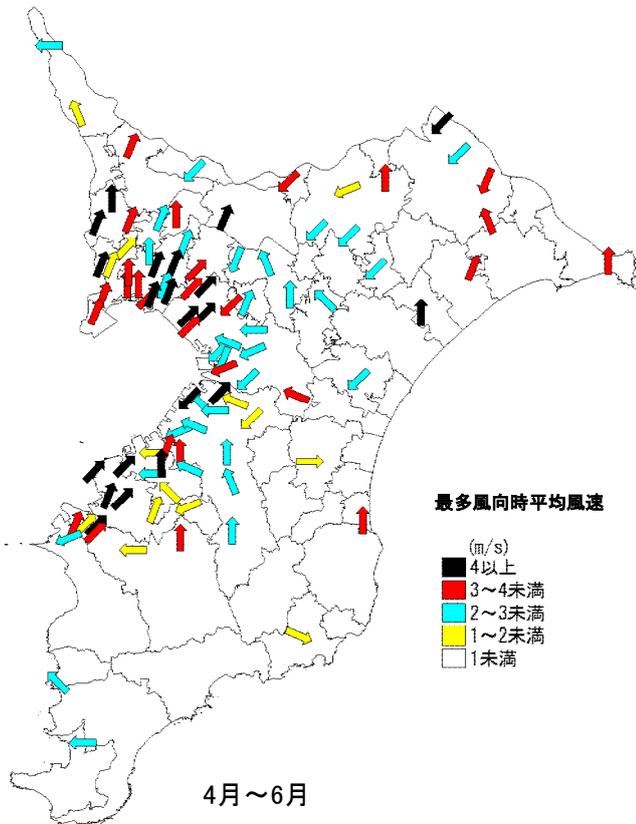


図1-1-1 4月～6月の最多風向と最多風向時平均風速

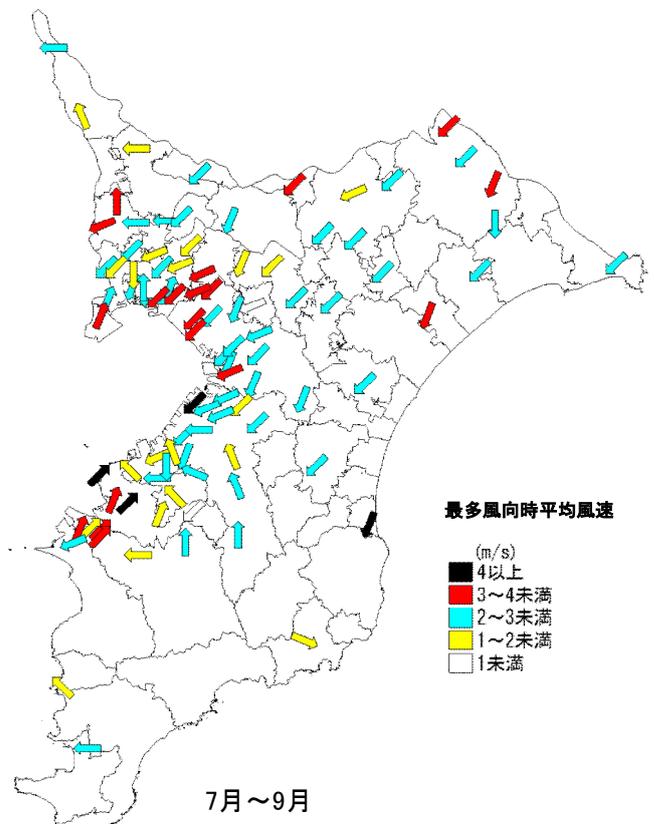


図1-1-2 7月～9月の最多風向と最多風向時平均風速

10～12月：県全域でN系、NW系の風が卓越した地点が多く、市原地域の内陸部、君津地域の内陸部にS、SE系が卓越した地点が若干見られた。最多風向時平均風速は3m/s未満の地点が多く、4m/s以上は市原、君津地域の湾岸部に見られた。

1～3月：10～12月と同様、県全域でN系、NW系の風が卓越した地点が多く、市原地域の内陸部、君津地域の内陸部にS、SE系が卓越した地点が若干見られた。最多風向時平均風速は3m/s以上の地点が多く、4m/s以上は葛南、千葉、市原、君津地域に多く見られた。

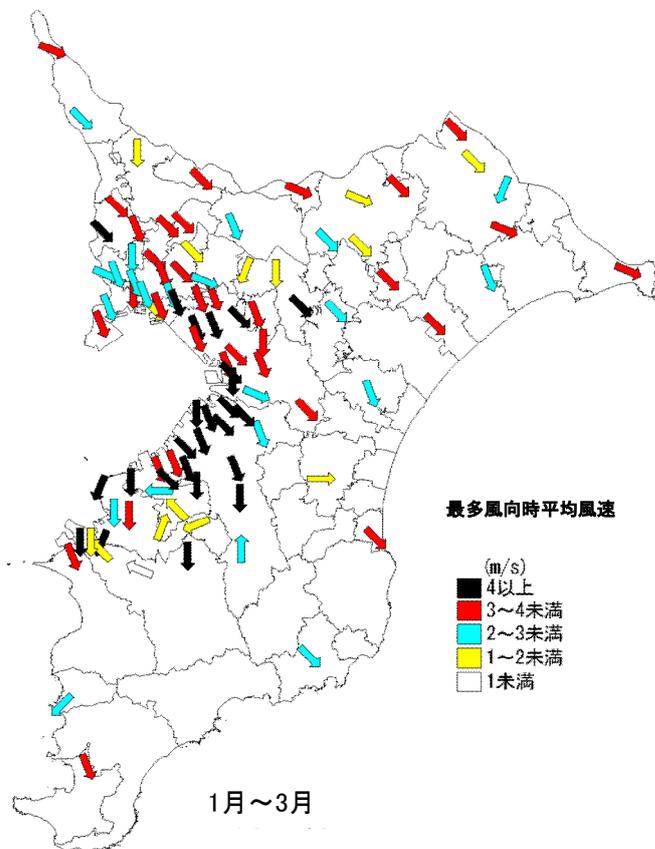
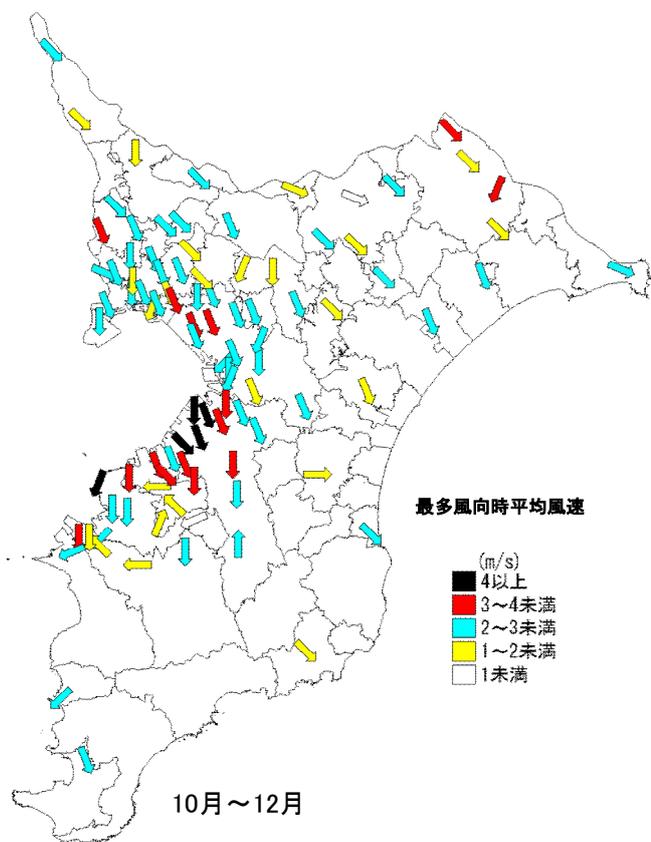


図1-1-3 10月～12月の最多風向と最多風向時平均風速

図1-1-4 1月～3月の最多風向と最多風向時平均風速

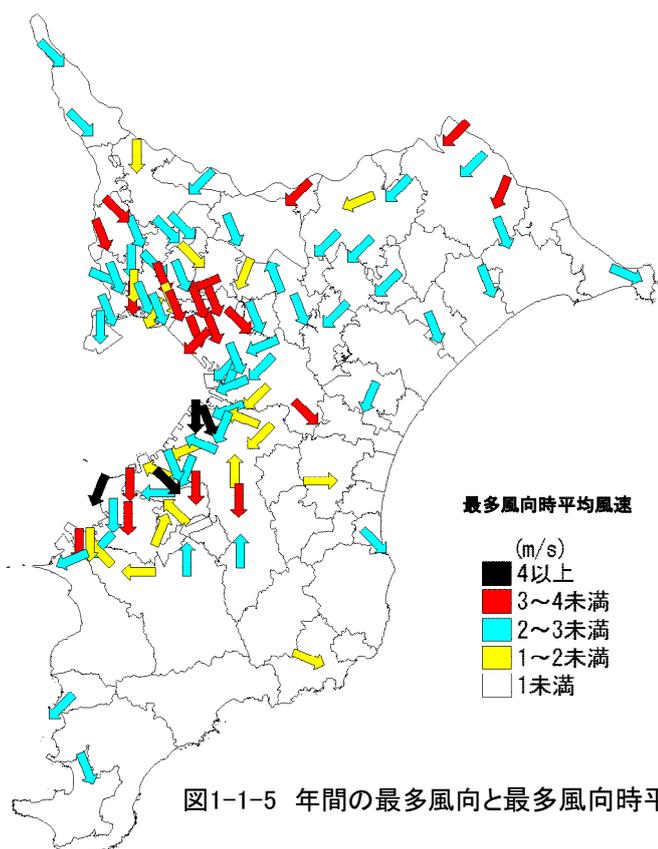


図1-1-5 年間の最多風向と最多風向時平均風速

年間：年間では、北総、成田、印西、千葉地域ではNE系の風が卓越した地点が多く見られた。野田、東葛、葛南地域ではNW、N系が卓越した地点が多く見られた。市原地域、君津地域の海岸部ではN、NE系の風が卓越した地点が多く見られた。内陸部ではN系、S、SE、SW系の風が卓越した地点が混在していた。太平洋岸の地点はNW系の風が卓越した地点が多く見られた。南房総地域の地点はS系の風が、茂原市、一宮町の地点はW系の風が卓越した。最多風向時平均風速は、市原、君津地域の湾岸部で4m/s以上の地点が見られ、内陸部は風速3m/s以下の地点が多かった。